うごかす、とめる。
Nabtesco

Innovation In Action
Vision 2030

ナブテスコ株式会社　証券コード：6268

ナブテスコ株式会社
2023年12月期第1四半期
決算説明会資料

2023年4月28日

代表取締役 常務執行役員
波部 敦

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

2023年12月期　第1四半期決算のポイント

Innovation In Action
Vision 2030

1

前年同期比　増収増益

連結売上高：822億円（YoY＋17%）　連結営業利益：58億円（YoY+16%）

- 23年1Q売上高は過去最高水準
  好調な需要が続く精密減速機に加え、航空機器、舶用機器等の需要回復によりYoY増収
- 23年1Q営業利益は、価格転嫁の進展に加え、TRS、ACB等の増収に伴う増益により
  YoY増益

2

上期計画に対し、全社売上・営業利益はともにインライン

（上期計画への進捗率）売上高：51%、営業利益：55%

- 今年度の収益性の改善アクション（価格転嫁など）は計画通り取組中
- 精密減速機の受注は、EV向け設備投資需要を背景に強い水準が継続
  （1Qの受注が想定以下になった要因は大型案件の期ズレによる）

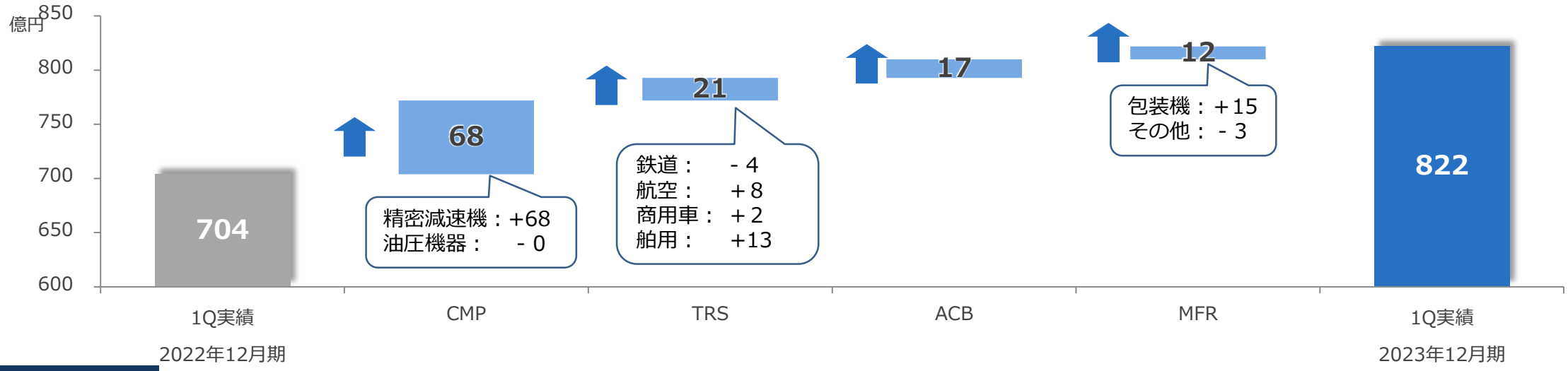
CMP: Component Solution Segment　TRS: Transport Solution Segment　ACB: Accessibility Solution Segment　MFR: Manufacturing Solution Segment

2023年12月期　第1四半期サマリー（前年同期比）

Innovation In Action
Vision 2030

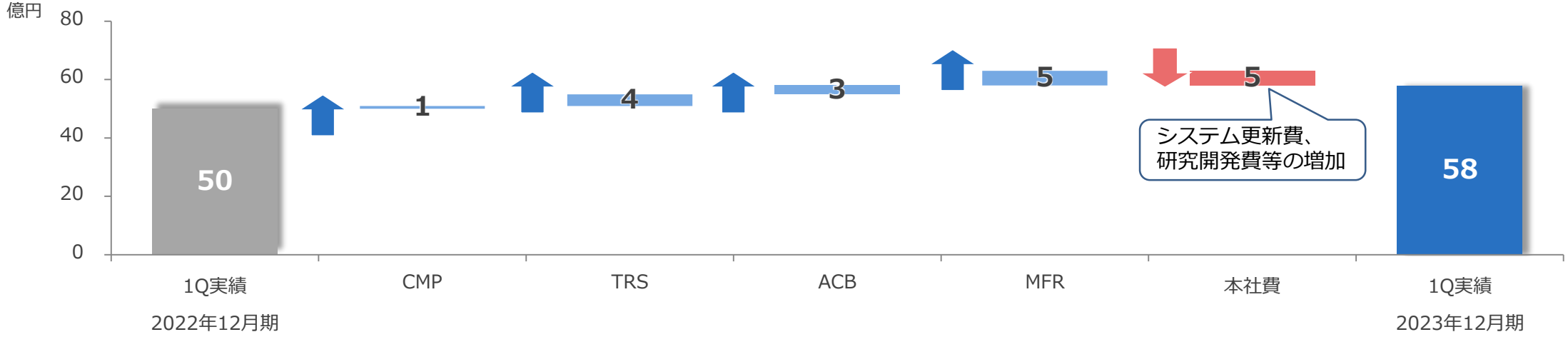
売上高

■精密減速機の需要好調に加え、航空機器、舶用機器の需要回復・伸長により増収



営業利益

■価格転嫁の進展に加え、各セグメントの増収に伴う増益により増益



CMP: Component Solution Segment　TRS: Transport Solution Segment　ACB: Accessibility Solution Segment　MFR: Manufacturing Solution Segment

2023年12月期　第1四半期連結業績【P/L】

Innovation In Action
Vision 2030

■税引前利益および当期利益の大きな変動は、主に22年1Qに計上していたHDS株の評価損の剥落によるもの

(単位：億円)

	2022/12 1Q 実績(A)	2023/12 1Q 実績(B)	前年比増減 (B-A)
売上高	704	822	118
営業利益	50	58	8
(営業利益率)	7.1%	7.0%	-0.1pt
金融損益	-109	42	151
(うちHDS*1株式評価)	(-117)	(40)	(157)
持分法による投資利益	8	9	1
税引前利益	-51	108	159
当期利益*2	-44	67	111
基本的1株当たり当期利益(円)	-36.57	55.82	92.39
HDS評価用の株価	4,220円/株	4,395円/株	-

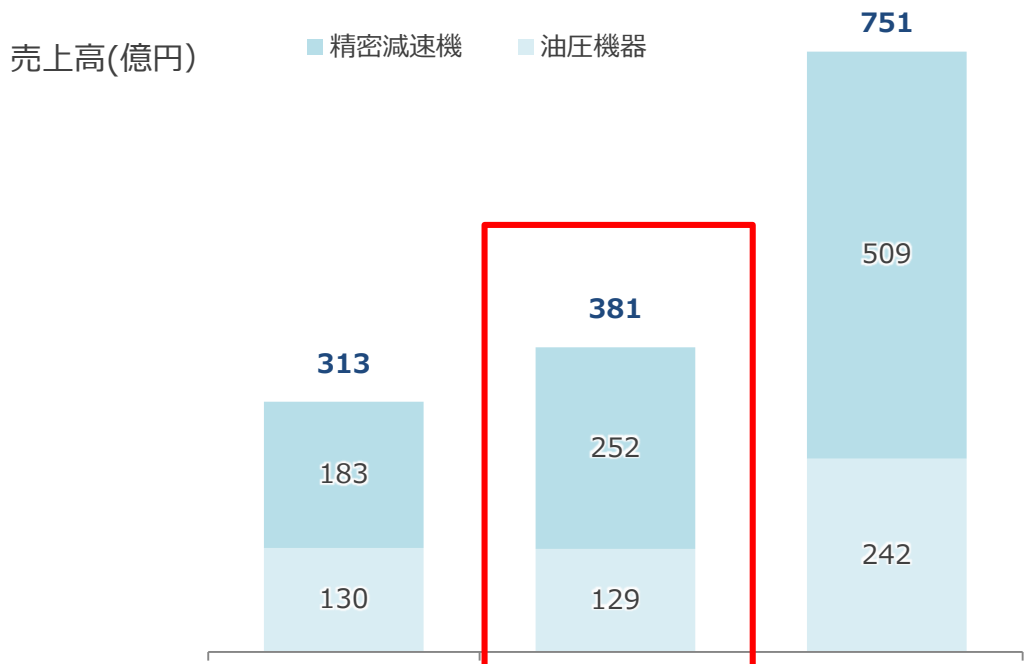
(参考)

2022/12 通期実績（C)	2023/12 期首計画（D)	差異 (D-C)
3,087	3,390	303
181	262	81
5.9%	7.7%	1.8pt
-51	9	60
(-56)	(9)	(65)
28	21	-7
158	292	134
95	195	100
78.9	162.5	83.6
3,715円/株	3,715円/株	-

*1 HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ　*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年12月期 第1四半期 事業別 業績推移

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）



	2022年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	2023年12月期 上期計画
営業利益(億円)	38	40	90
営業利益率	12.3%	10.4%	12.0%

事業環境

事業	市場環境	市場動向
精密減速機	ロボット向け：EV向け設備投資が継続し大型向け好調	☀
	FA向け：半導体や工作機械需要の低下	☁
油圧機器	中国市場：需要停滞 23年1Q　中国建機販売台数*1：YoY-25%	☂
	中国以外：需要堅調 23年1~2月　建機出荷金額*2（国内＋輸出）YoY＋24%	☀

セグメント収益性

23年1Q：YoYで営業利益率は低下。

精密減速機：製品構成差の発生、価格転嫁は進捗

油圧機器：中国市場の需要減、競争環境激化

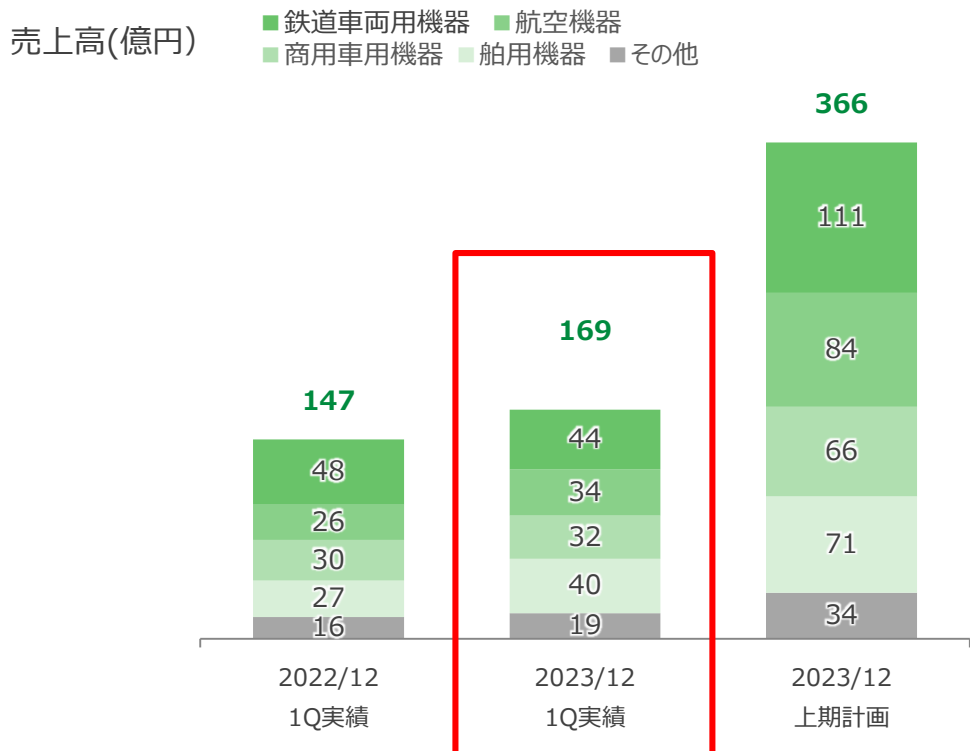
セグメント：原材料費高騰、人件費・光熱費増
減価償却費増

2Q以降：精密減速機における増収による増益、価格転嫁、原価低減活動の進展を見込むとともに、油圧機器では下期に中国市場の需要回復による効果を期待。

*1出典：中国工程機械工業協会　*2出典：日本建設機械工業会

2023年12月期 第1四半期 事業別 業績推移

トランスポートソリューションセグメント（TRS）



	2022年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	2023年12月期 上期計画
営業利益(億円)	11	15	26
営業利益率	7.2%	8.6%	7.1%

事業環境

事業	市場環境	市場動向
鉄道車両用機器	23年度の国内新車向け投資は低調 鉄道事業者の新車向け投資は24年以降の回復期待	☁
航空機器	民間向け：運航量回復に伴い需要増 民間航空機の23年2月の全世界のRPK*は前年比55%増	☀
	防衛向け：防衛予算拡大に伴う需要拡大	
商用車用機器	半導体不足の緩和によりトラック生産量が回復	☀
舶用機器	新造船：各国造船所が潤沢な手持ち工事量を確保	☀
	MRO：環境規制対応部品の需要増	

セグメント収益性

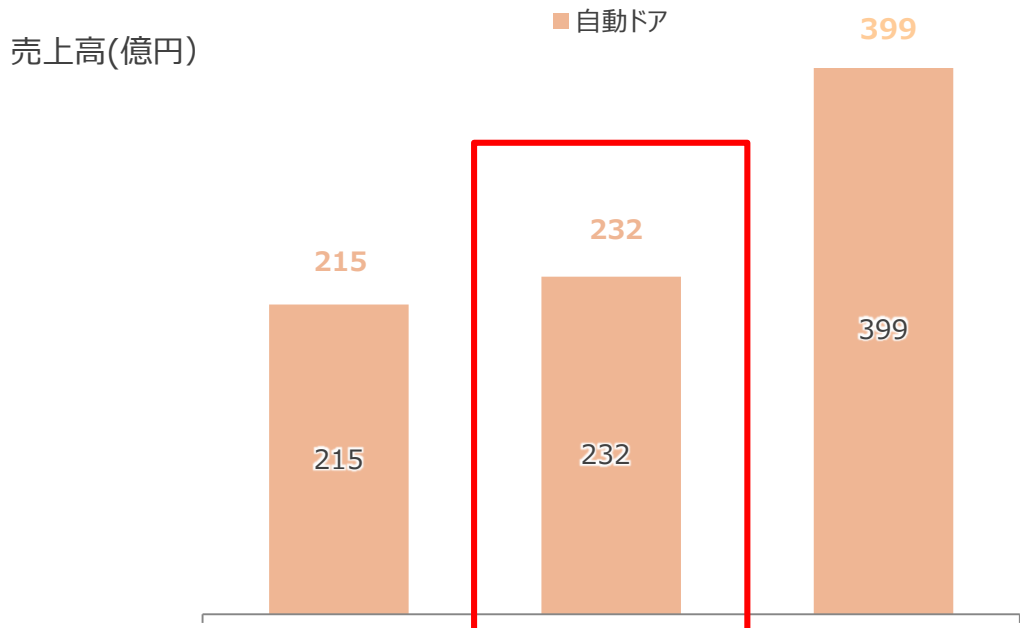
23年1Q：増収による増益に加え、価格転嫁の進展や
コスト削減策により、YoYで営業利益率は改善。

2Q以降：需要（生産需要）回復が継続し、下期にかけて増収に伴う
増益を見込む。

*RPK：Revenue Passenger Kilometers 有償旅客キロ（出典：IATA）

2023年12月期 第1四半期 事業別 業績推移

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）



	2022年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	2023年12月期 上期計画
営業利益(億円)	23	25	30
営業利益率	10.6%	11.0%	7.5%

事業環境

事業	市場環境	市場動向
自動ドア	国内：新規建物用ドアの需要好調	☀
	欧米：足下の需要好調も、景気不安等による案件停滞懸念あり	☁
PD	国内：国の支援制度（鉄道駅バリアフリー料金制度）等により、24年以降案件の受注が活発化	☀
	海外：23年の需要は好調も、24年以降案件先送り傾向有り	☁

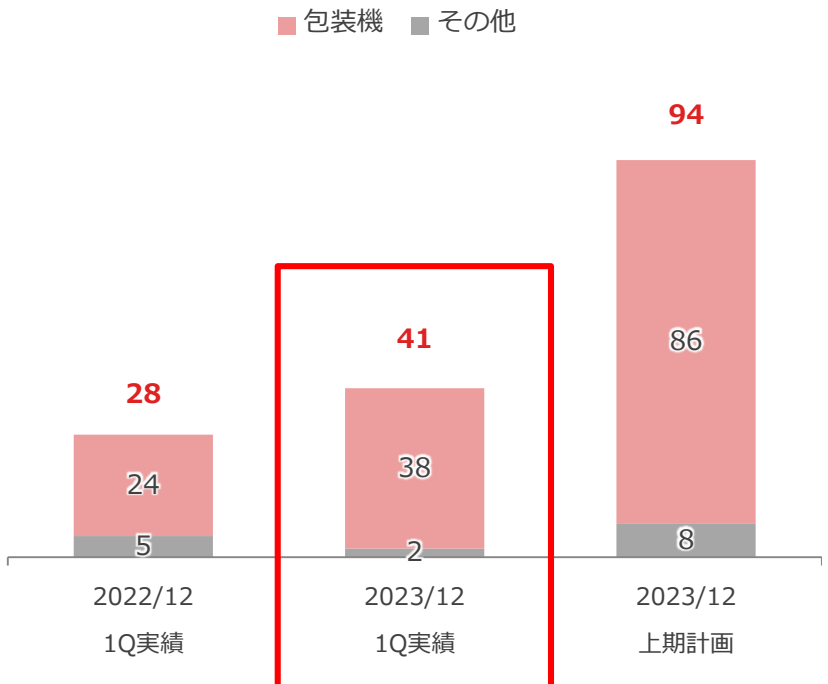
セグメント収益性

23年1Q：電子部品不足解消により建物用自動ドア販売が増加。
価格転嫁の進展もあり、YoYで営業利益率は改善。

2Q以降：高い国内需要により、年間では計画通りの着地を見込む。

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）

売上高(億円)



	2022年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	2023年12月期 上期計画
営業利益(億円)	-1	4	9
営業利益率	-2.6%	10.0%	9.6%

事業環境

事業	市場環境	市場動向
包装機	23年1Qは、コロナ影響緩和により食品向け等は増加 一方、インフレ影響や景気見通しへの不安から２Q以降の顧客の設備投資マインドは慎重	

セグメント収益性

23年1Q：電子部品不足解消等により、包装機では製品・MROともに売上がYoYで増加。
増収による増益に加えて、価格転嫁の進展およびMRO増加によりYoYで営業利益率は改善。

2Q以降：増収による増益を見込む。

2023年12月期 第1四半期バランスシート

Innovation In Action
Vision 2030

（単位：億円）	2022/12 期末 2022年12月31日	2023/12 1Q末 2023年3月31日	差異
資産	4,593	4,346	-247
（現預金等）	1,244	① 994	-250
（売上債権）	794	757	-37
（棚卸資産）	492	548	56
（売却目的で保有する資産）	340	201	-139
（非流動資産）	1,638	② 1,750	112
負債	1,961	1,680	-281
（社債及び借入金）	203	181	-22
（流動負債のその他金融負債）	473	③ 236	-236
（未払法人税等及び長期繰延税金負債）	158	76	-82
資本	2,632	2,665	33
（自己株式）	-46	-45	1
（非支配持分）	145	147	1
親会社所有者帰属持分	2,487	2,518	31
親会社所有者帰属持分比率：	54.1%	④ 58.0%	3.9pt

①現預金の減少
●HDS株式売却関連
（法人税＋売却時の精算）
●自動ドア子会社買収
等により減少

②非流動資産の増加
●精密減速機事業の固定資産増
●自動ドア子会社ののれん増
等により増加

③その他金融負債の減少
●HDS株式売却関連（預り金減少）
等により減少

④親会社所有者帰属持分比率の増加
●現預金の減少
●HDS社株式減少
により改善

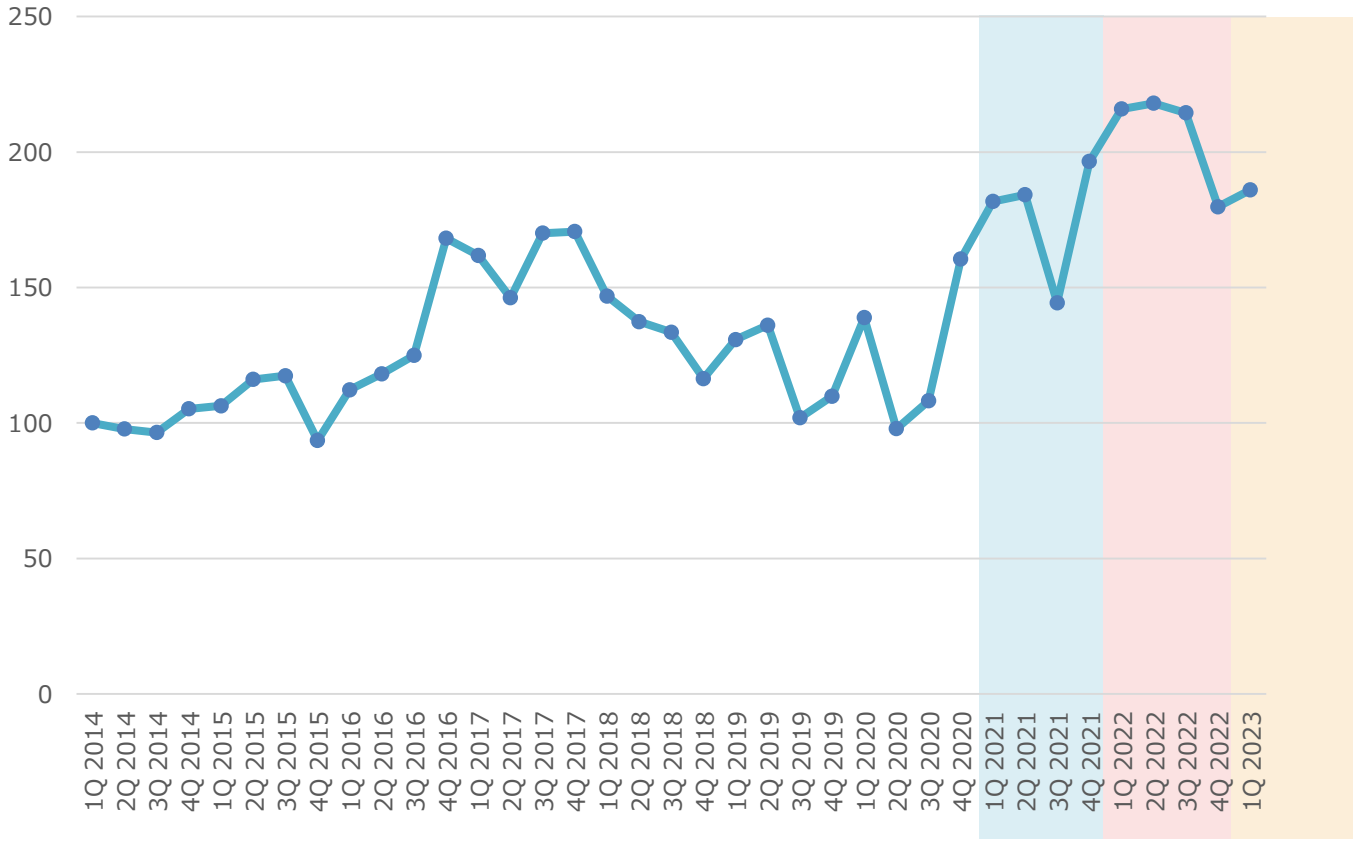
精密減速機　【連結受注・生産能力推移】

Innovation In Action
Vision 2030

連結受注高

FY2023/1Qの受注高は QoQ+4%,YoY-14%

23年１Q受注高は、大型案件が１Qから期ずれしたことにより、
期待水準には届かなかったが、年間の受注計画に変更なし。

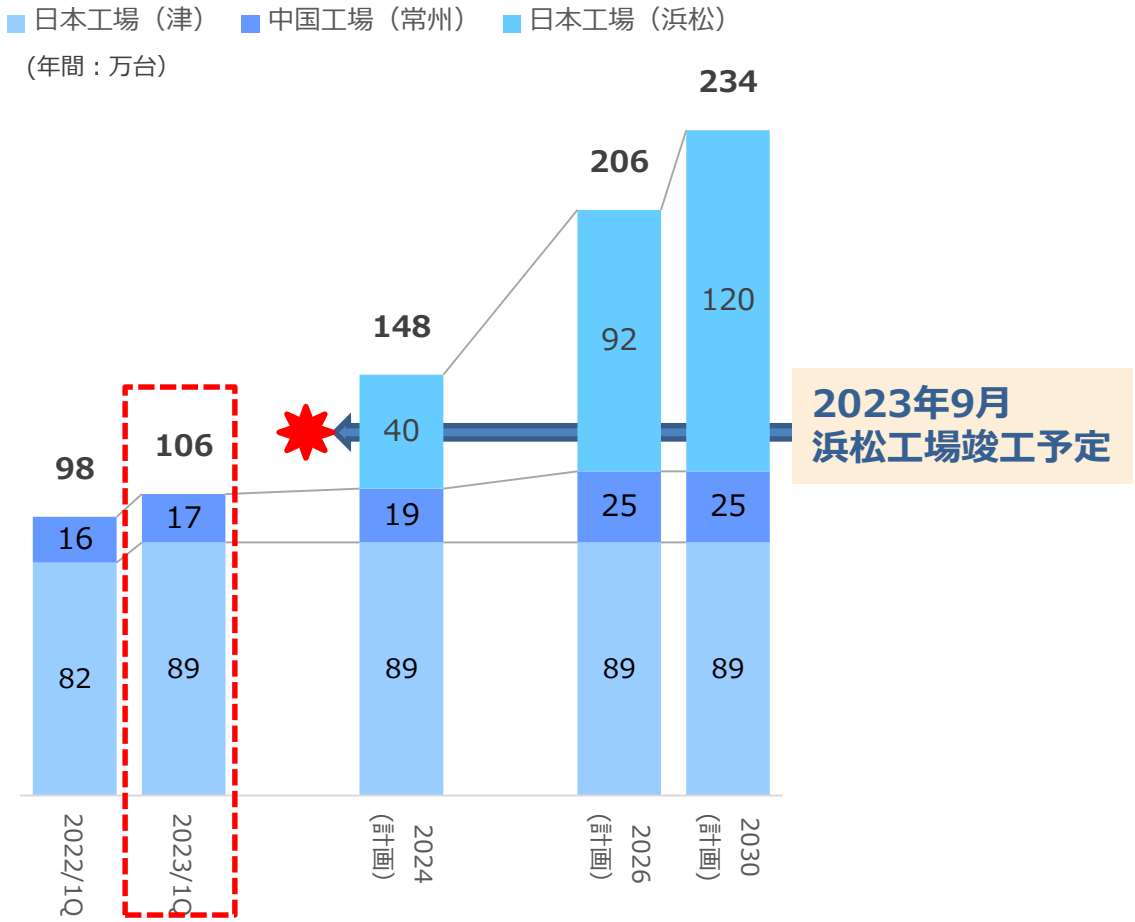


2014年1Q＝100とした時の連結受注水準

グローバル定時生産能力：106万台/年産（23年1Q時点）

FY2023/1Q　工場稼働率

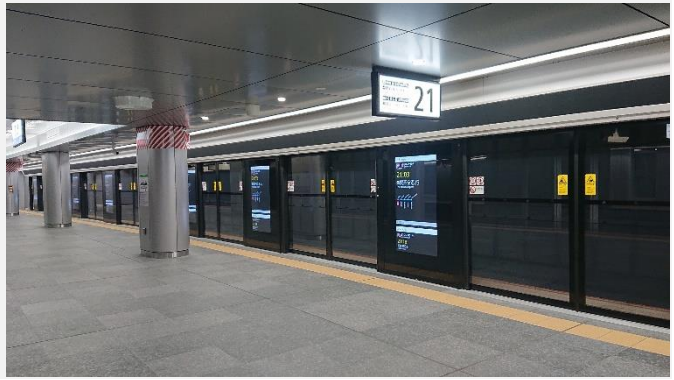
- ■日本工場(津)　年産89万台の定時生産能力に対し**110%稼働**
- ■中国工場（常州）年産17万台の定時生産能力に対し**115%稼働**



自動ドア

あらゆるドア位置に対応する、世界初のフルスクリーンホームドアが「大阪駅(うめきた新ホーム)」に採用

2023年3月に開業した大阪駅（うめきた新ホーム）に、JR西日本グループと共同開発したホームドアを導入。同駅に乗り入れるあらゆる車両の乗降口に合わせてホームドアの開口部を自在に構成できることが特徴。



舶用機器

世界初となるABSサイバーセーフティ認証を舶用エンジン遠隔制御システムで取得

舶用機器におけるABS（アメリカ船級協会）のサイバーセーフティ認証取得は当社が世界初。
船舶のサイバーセキュリティを担保し、航行の安全性向上および自律運航技術の開発に貢献する。

舶用エンジン遠隔制御システム
（M-800-V）

認証証明書

CVC

脱炭素に向けた電動化対応バッテリーおよび関連ソリューション技術の獲得

2023年2月　次世代リチウムイオン電池の開発メーカーNanoGraf社に出資し、協業検討を開始
2023年3月　産業車両向けバッテリーシステムメーカーColibri社に出資し、協業検討を開始

Appendix

5. 為替影響

■為替レート

	2022/12 1Q実績	2023/12 1Q実績	2023/12 計画
USD	¥117.79	¥133.44	¥125.00
RMB	¥18.54	¥19.41	¥18.50
EUR	¥131.57	¥143.96	¥130.00
CHF	¥127.13	¥144.30	¥135.00

■為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

	2022/12 1Q実績		2023/12 1Q実績		2023/12 通期計画	
(百万円)	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
USD	31	8	44	10	191	58
RMB	401	126	429	114	1,387	274
EUR	16	軽微	21	軽微	77	軽微
CHF	51	軽微	57	軽微	230	軽微

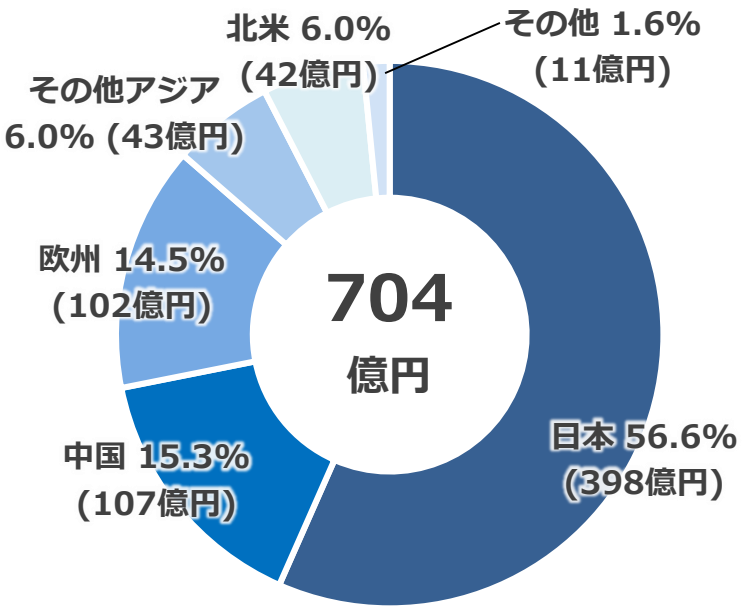
2023年12月期 第1四半期セグメント別業績概況

Innovation In Action
Vision 2030

セグメント	項目	2022/12 1Q実績(A)	2023/12 1Q実績(B)	前年比増減 (B-A)	2023/12 上期計画（C）	1Q実績対上期計画進捗率 (B/C)	2023/12 通期計画 (D)
コンポーネントソリューション（CMP）	売上高	313	381	68	751	50.7%	1,548
	営業利益	38	40	1	90	44.1%	196
	(営業利益率)	12.3%	10.4%	-1.9pt	12.0%	-	12.7%
トランスポートソリューション（TRS）	売上高	147	169	21	366	46.0%	778
	営業利益	11	15	4	26	55.8%	76
	(営業利益率)	7.2%	8.6%	1.4pt	7.1%	-	9.8%
アクセシビリティソリューション（ACB）	売上高	215	232	17	399	58.2%	853
	営業利益	23	25	3	30	84.8%	75
	(営業利益率)	10.6%	11.0%	0.4pt	7.5%	-	8.8%
マニュファクチャリングソリューション（MFR）	売上高	28	41	12	94	43.1%	211
	営業利益	-1	4	5	9	45.0%	24
	(営業利益率)	-2.6%	10.0%	12.6pt	9.6%	-	11.4%
全社または消去		-21	-26	-5	-50	51.8%	-109
連結合計	売上高	704	822	118	1,610	51.0%	3,390
	営業利益	50	58	8	105	55.0%	262
	(営業利益率)	7.1%	7.0%	-0.1pt	6.5%	-	7.7%

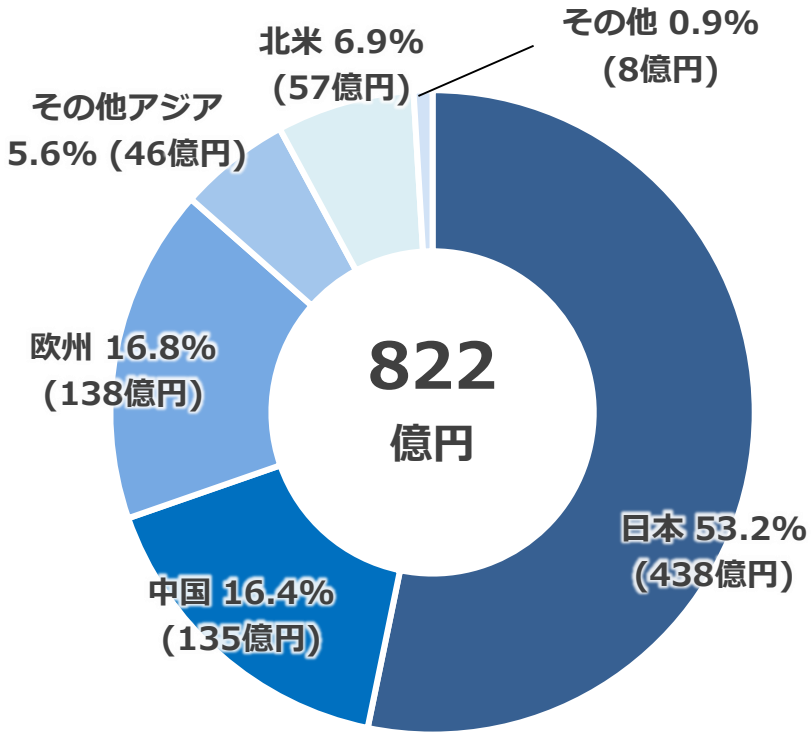
地域別売上高構成比

2022/12 1Q累計実績



海外売上高	305億円
海外売上高比率	43.4%

2023/12 1Q累計実績



海外売上高	384億円
海外売上高比率	46.8%

設備投資額・研究開発費・減価償却費

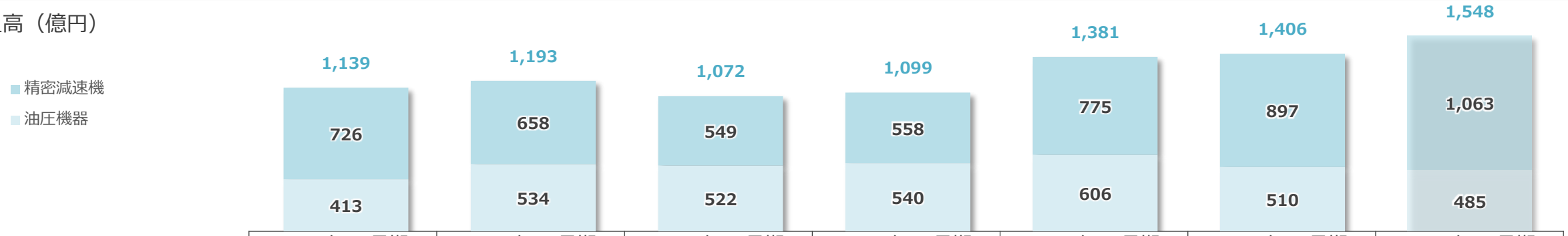
■設備投資額の増加は主に精密減速機の生産能力増強への投資によるもの

(単位：億円)	2022/12 1Q実績 (A)	2023/12 1Q実績 (B)	2023/12 期首計画 (C)	対前年同期比 (B-A)	進捗率 (B/C)	2022 /12 通期実績
設備投資額	45	75	394	30	19%	188
研究開発費	26	27	139	1	20%	109
減価償却費	35	37	158	2	23%	145

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）

Innovation In Action
Vision 2030

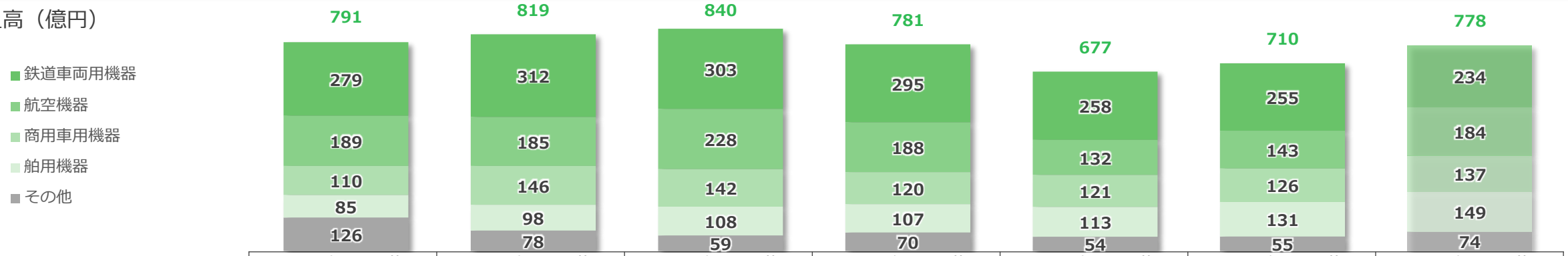
売上高（億円）



	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 通期実績	2019年12月期 通期実績	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期計画
営業利益(億円)	204	202	159	177	229	159	196
営業利益率	17.9%	16.9%	14.8%	16.1%	16.6%	11.3%	12.7%

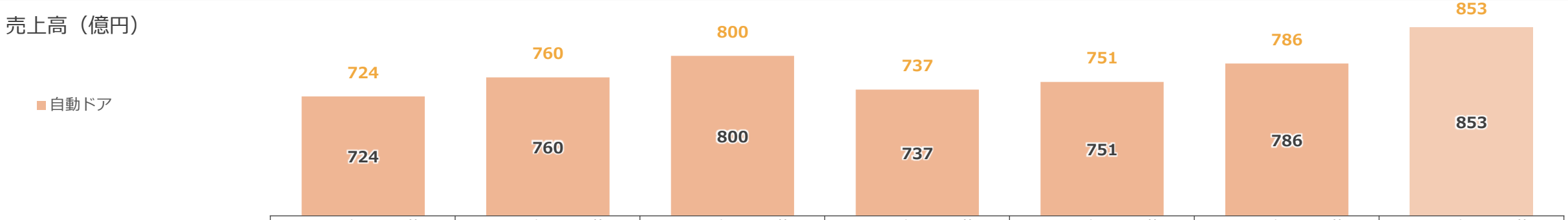
トランスポートソリューションセグメント（TRS）

売上高（億円）



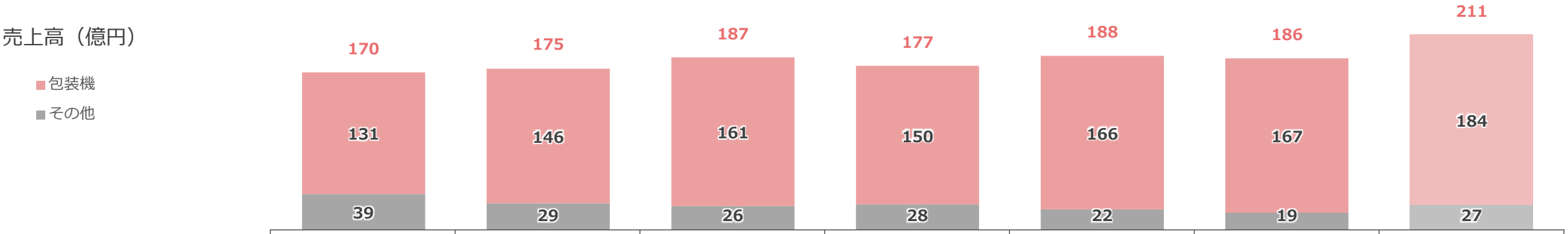
	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 通期実績	2019年12月期 通期実績	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期計画
営業利益(億円)	84	20	58	33	56	67	76
営業利益率	10.6%	2.5%	6.9%	4.3%	8.3%	9.5%	9.8%

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）



	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 通期実績	2019年12月期 通期実績	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期計画
営業利益(億円)	52	46	86	77	76	28	75
営業利益率	7.1%	6.1%	10.7%	10.5%	10.2%	3.6%	8.8%

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)



	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 通期実績	2019年12月期 通期実績	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期計画
営業利益(億円)	20	25	26	23	27	15	24
営業利益率	11.6%	14.0%	13.7%	13.1%	14.5%	8.0%	11.4%

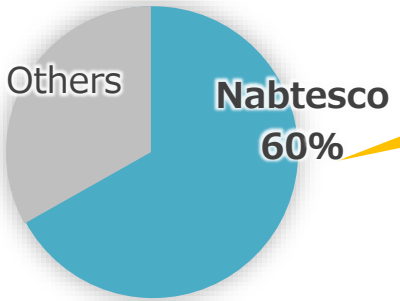
コンポーネントソリューションセグメント（CMP）主要製品

Innovation In Action
Vision 2030

注：シェアは当社推計

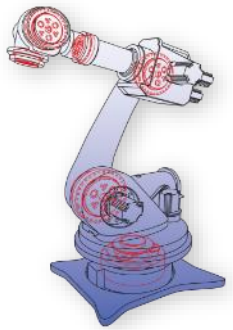
精密減速機

■中大型産業用ロボットの関節用途



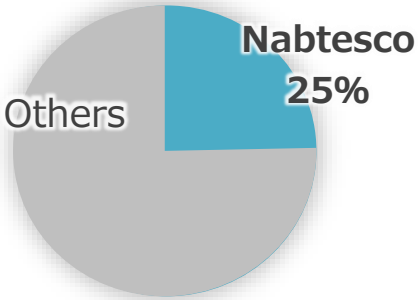
No.1

世界シェア約60%

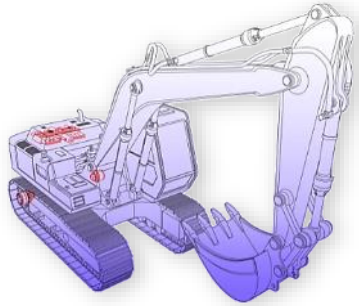


油圧機器

■油圧ショベル用走行ユニット



世界シェア約25%



主要顧客 (敬称略)

■精密減速機

産業用ロボット： ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■油圧機器

走行ユニット： コマツ、住友建機、コベルコ建機、 Sany (中) 、 XCMG (中) 、Liu Gong (中)

トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

Innovation In Action
Vision 2030

注：シェアは当社推計

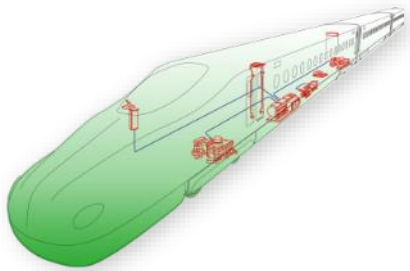
鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

No.1 国内シェア約50%

■ 鉄道車両用ドア開閉装置

No.1 国内シェア約60%

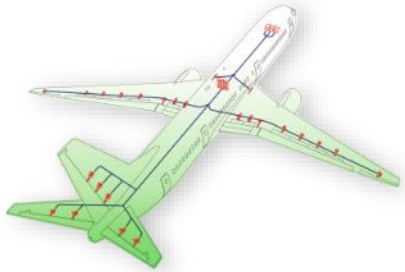


航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

No.1

FCAの国産機
シェア約100%



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、 川崎重工業、三菱重工業、 IHI、防衛省、エアライン各社

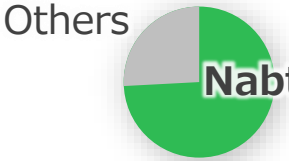
トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

Innovation In Action
Vision 2030

注：シェアは当社推計

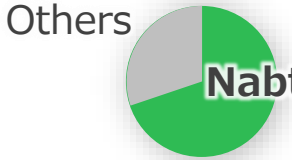
商用車用機器

■商用車用ウェッジチャンバー



No.1　国内シェア約75%

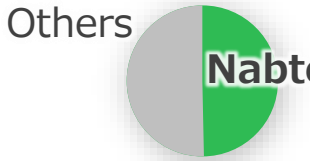
■商用車用エアドライヤー



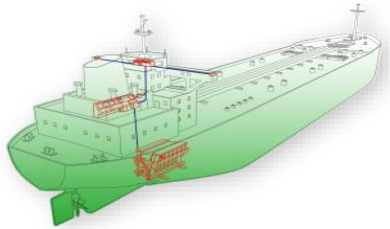
No.1　国内シェア約70%

舶用機器

■舶用エンジン遠隔制御システム



No.1　国内シェア約50%
(世界シェア約40%)



主要顧客 (敬称略)

■商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■舶用機器

川崎重工業、(株）ジャパンエンジンコーポレーション、　（株）マキタ、日立造船（株）　、三井E&Sマシナリー、
Hyundai Heavy Industries (韓) 、 Hudong Heavy Machinary (中) 、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、 MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）主要製品

Innovation In Action
Vision 2030

注：シェアは当社推計

自動ドア

■自動ドア開閉装置

No.1

建物用自動ドア
国内シェア約55%
(世界トップクラス)

■プラットホームスクリーンドア

No.1

国内シェア約95%

主要顧客（敬称略）

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機

No.1

国内シェア約85%

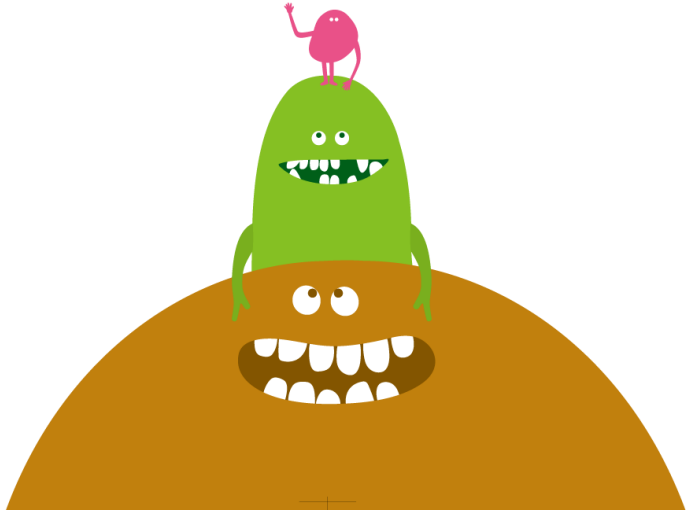
主要顧客（敬称略）

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco



©Nabtesco